

## 食の体験学習で表彰

長年にわたり嘉瀬小学校学童農園として水田を提供し稲作の栽培体験や育成の管理を行った功績が認められ、嘉瀬の金澤栄さんが平成14年度青森県「いのち育む」食の体験学習功労者として2月14日、弘前市で開催された「あおもり『食』と『いのち』のフォーラム2003」で表彰されました。

金澤さんは嘉瀬小学校のPTA会長を永年務め、現在は青森県PTA連合会の理事として子どもの健全な食生活の啓発に努めています。

今回の受賞で「非常にうれしい。今回は自分が表彰されましたが、学校、PTAの方々の協力があったことです。これからも嘉瀬小学校の『総合的な学習の時間』を支援していきたい」と話していました。



## 明日の農業 のための 公開講座

厳しい農業情勢の中で明るい農業を築いてもらおうと、「学ぼう・考えよう明日の農業のために」をテーマとした公開講座が2月27・28日、中央公民館で行われました。弘前大学生物共生教育研究センター金木農場（センター長＝牧田肇）が主催した講座には72名が受講し、講師を務めた同大学農学生命科学部の澁谷助教授らの米づくり、施設園芸の問題点等の講演を熱心に聞き入っていました。最後に講座を終えた受講者に修了証書が贈られました。

## 児童全員参加の 校内スキー大会

2月15日、嘉瀬スキー場で今シーズンの最後となった嘉瀬小学校（校長＝對馬禮）の校内スキー大会が開催されました。1年から6年までの全児童が参加して、アルペン、ジャンプ、クロカン競技などで練習の成果を発揮していました。今回が初めての大会参加となった1年生のクロカン競技には高学年や応援にかけつけた父母らから大きな声援が送られていました。



# ま ど ち の ま ど ち の

## 一人暮らし老人へ配食サービス

2月28日、3月20日の両日、金木町社会福祉協議会が65歳以上の一人暮らし老人へ昼食の弁当を配布する配食サービスを行いました。金木町日赤奉仕団（委員長＝福山初枝）と連合婦人会（会長＝福山初枝）の会員30人の協力で作られた弁当300個は民生委員、ほのぼの協力員と社協関係者により老人一人ひとりに手渡しされました。民生委員の徳田キヨエさんが本町の松橋シヨさん宅を訪問。弁当を手渡しされた松橋さんは「いつも楽しみにしています。ありがとうございます」とお礼を述べていました。





## 地震発生時の避難訓練

第3保育所で地震発生を想定した避難訓練が、3月5日に行われました。非常ベルが鳴り「地震が発生しました。避難してください」との放送で、年長のぞう組の児童たちは一斉にテーブルの下に避難。地震が収まったとして遊戯室に集まった児童たちに先生が「避難するのがとってもうまくなりました。お家でも同じですよ」といい、児童たちは「はい」と元気よくこたえていました。

## 牛乳を使ったおふくろの味

牛乳製品を普及推進しようと金木地区生活改善グループ連絡協議会（会長＝中村リツエ）が主催した牛乳・乳製品を使ったおふくろの味講習会が3月5日、中央公民館で開催されました。会員約30人が参加した講習会では、鶏肉のミルク煮、かぼちゃスープ、簡単ヨーグルト、ながいもの初恋（ながいも入りホットケーキ）のつくり方の説明を受け、レシピ片手に料理を開始。お昼にはこの料理に舌鼓を打っていました。



## 春を呼ぶ種モミの選別作業

3月12日、金木町野菜集出荷施設で水稲の種モミの選別作業が行われました。JA津軽北部金木支店の壮青年部と若妻会13人が、この日持ち込まれた種モミ約3,000kg（水田75ha分）を依頼農家ごとに分別し、塩水につけて選別、水分をとり、ばか苗病やいもち病を予防する殺菌剤をミキサーで混ぜる作業を行い、その日のうちに依頼農家へ配布されました。

### 津軽弁の笑い話③

「飲ムナ？」

集団就職した金九郎の娘マリが、男友達と一緒に、しかもおなかは、大きい西瓜を入れたように、ふくらんでいた。それでも金九郎夫婦は、二人を大いに歓迎した。

「若い者、酒コ飲ムナ、ビールコ飲ムナ、それともウヰスキー飲ムナ、焼酎飲ムナ、なに飲むば」金九郎は、将来の婿殿にすすめた。

若い男は、ごくと喉をならし、黙っていた。

娘「どうしたの、何か飲まないの」男「お父さんが、酒飲むな、ビール飲むな、ウヰスキー飲むな、焼酎飲むな、というから飲まれないよ」

と、しよんぼりしていた。

（森 平）

「金木のかたりべ」より

東京都墨田区に在住し、本会の常任理事及び金木高校在京同窓会会長を務めている 葛西 勝昭 さんのお便りを紹介します。

### 『金木高校在京地区同窓会事務局開設』

昨年10月に金木高校創立50周年を迎えました。

私も卒業と同時に上京し早30年となり、記念誌を読みながら高校時代を懐かしんでいる今日このごろです。

上京したころ、東京の生活にも慣れずにいましたが、5月に在京同窓会があることを知り出席しました。100名以上いたと思いますが久々に級友や先輩達と出会い、本当に感動したものでした。仕事の関係や転勤などで出席できなくなり、再度参加できたのは7年前くらいだと思います。当初に比べ参加者もだいぶ減っており知っている人も少なくなっていました。

時代の流れなのか上京する人も減ったのかも知りませんが、東京方面の在住の同窓生はまだたくさんいると思います。今度在京地区事務局も開設しましたので、ふるさとの皆様をご存知の同窓生にご連絡いただければ幸いです。

3年前から東京ふるさと金木会があることを知り参加しておりますが、在京同窓会と違った懐かしさがありとても良いものだと思っております。

今年金木会の10周年記念の年でもあり、6月29日には東京中野サンプラザにて盛大に懇親会が開かれます。友人、知人等お声をかけていただきふるさとからも多数のご参加をお待ちしております。また在京同窓会の活動にも力添えを賜りますようお願いいたします。



平成13年 東京ふるさと金木会総会にて

在京金木高校 〒231-0011 横浜市中区太田町3-36 (株)都市企画開発内  
同窓会事務局 事務局長 対馬 治(沢部出身) TEL 03-3942-8825・FAX 03-3942-9171

◎ 3月23日(日) 東京ふるさと金木会共催 津軽のけやぐ衆観桜会開催  
場所 猿江恩賜公園(江東区毛利2丁目13-7) 時間 午前11時開会

【東京ふるさと金木会事務局】 〒170-0002 東京都豊島区巢鴨1-3-22 アドニス天野2F  
加藤税理士事務所内 TEL 03-3942-8825・FAX 03-3942-9171

# 国民年金情報

こんな時は届出を忘れずに

国民年金制度は日本国内に住所のある二十歳から六十歳までの人が加入する制度で、加入者は3つのグループに別れております。

※第1号被保険者

自営業者、学生、アルバイト等

第2号被保険者

会社員、公務員等

第3号被保険者

配偶者

就職・転職・退職・結婚等により、被保険者の種類(種別)が変わる場合があり、その際には届出が必要となります。

次のようなときには第1号被保険者資格取得の届出が必要で、忘れずに町役場の国民年金担当係にお届けください。

○ 第2号被保険者が退職したとき、扶養している配偶者のいる方は合わせて届出をしましょう。

○ 第3号被保険者が離婚したとき、第3号被保険者の収入等が百三十万円を超えて健康保険・共済組合加入者の扶養からはずれたとき。

次のようなときには、第2号又は第3号被保険者資格取得の届出が必要ですので、会社(事業主)や共済組合へ申し出てください。

● 就職して、職場の公的年金制度(厚生年金保険・共済組合)に加入したとき。

● 厚生年金保険・共済組合加入者と

結婚して、被扶養配偶者になったとき。

● 第1号被保険者が、健康保険・共済組合の被扶養配偶者となったとき。

届出を忘れると将来受け取る年金額が減額されたり障害年金や遺族年金が受けられなくなる場合があります。あなたの一将来一と「万一」のためにも届出は忘れずに行いましょう。

● ご不明な点などがありましたら、町役場または最寄りの社会保険事務所へお問い合わせください。

### 国民年金保険料の納め忘れはありませんか

皆さん、国民年金保険料の納め忘れはありませんか。

国民年金は、将来の生活保障の一つとして欠くことのできないものです。保険料の納め忘れがあると、将来、老齢基礎年金が減額になるばかりでなく、病気や事故など、万が一のときの障害基礎年金や遺族基礎年金を受給できなくなる場合があります。国民年金保険料の納め忘れがないか、もう一度お確かめください。

なお、国民年金保険料を確実に納める方法として、金融機関の口座振替を利用する方法があります。便利で安心・確実な口座振替を活用して、年金受給権を確かなものにしていきましょう。

詳しくは、最寄りの社会保険事務所へお問い合わせください。



# 乳腺・甲状腺 検診について

外科 清野 景好

当外科では住民の健康診断として、昭和五十九年より、三十才以上の女性を対象に乳腺、甲状腺および腹部超音波検診を行ってまいりました。平成十三年からは腹部超音波検診がなくなり、乳腺、甲状腺だけの検診となっています。

今回、平成元年から十二年までの検診活動を振り返り、そして今後の検診活動の参考にする目的で集計しましたのでご報告いたします。

平成元、二年は年間二五〇〇人以上の受診者がいま

したが、それ以降は二〇〇人前後で推移しており、これは対象者の約二〇％が受診していることになりました。受診者のうち約一割の人が初めて検診を受ける方でした。これらの状況はこの十二年間は大きな変化はありませんでした(図1)。

検診後精密検査を必要とされたほとんどの人は、当院をはじめ近隣の医療機関で検査を受けており、その数は平均一五〇人でした(図2)。

精密検査を受けた一割弱の人がそれぞれの疾患の手術を受けています(図3)。

これらは全て悪性のものではなく、ほとんどが良性の疾患です。実際に悪性の疾患、すなわち癌で手術を受けた患者さんはこの十二年間で十九人で、その内訳は乳癌三人、甲状腺癌十三人、胆嚢癌三人でした。全受診者に対する比率にすると、この十二年間の平均で乳癌〇・〇一％、甲状腺癌〇・〇五四％となります。

図1 全体受診者数および初診者数

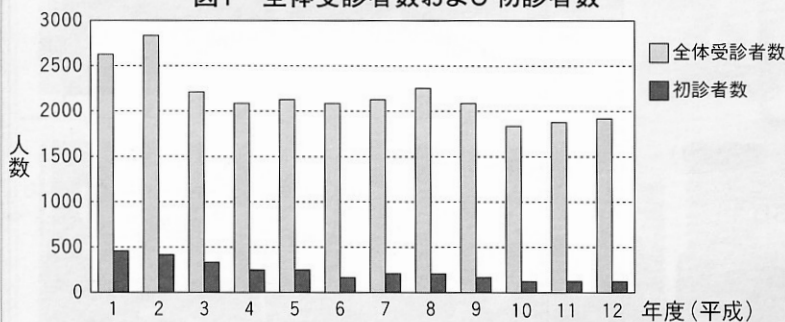


図2 要精密検査数および受診者数

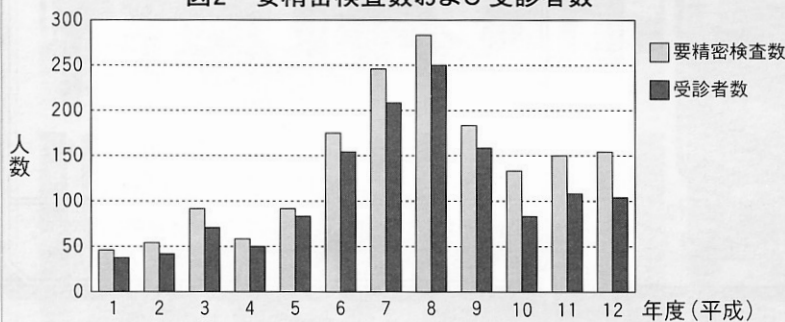
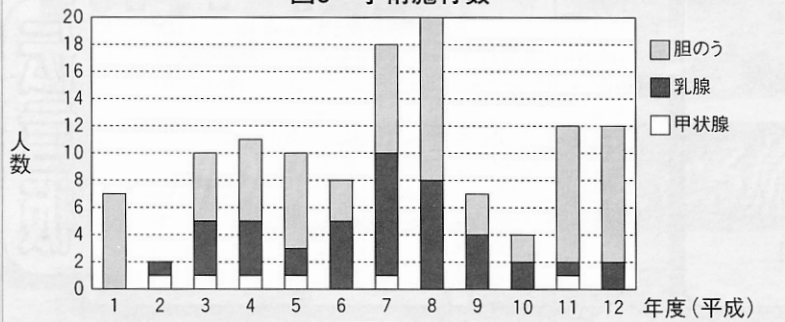


図3 手術施行数



青森県の検診センターの集計によれば、乳癌および甲状腺癌の発見率は過去五年間で、乳癌〇・〇四〇・〇九％、甲状腺癌〇・〇二〇・〇六％の範囲で推移しており、今回にわれわれの集計と比較すると、われわれの甲状腺癌の発見率は同様の結果でした。

が、乳癌の発見率が低いことがわかりました。最近三年間、当科で手術した乳癌患者は十四人いました。検診での乳癌の発見がいかに少ないものかお分かりいただけると思いますが、先の述べたように、毎年受診される方は対象者の二〇％にすぎず、さらにそ

のうちで新たな受診者は一〇％しかいません。はるかに多くの癌の患者さんはこの検診を受けた人たちの外側にいます。その人たちは早期の段階で発見するためには、受診率を上げること、とくに初診者の受診率をあげることにように思われました。

# はじめまして

泉谷 悠斗<sup>ゆうと</sup>くん(1月28日生)



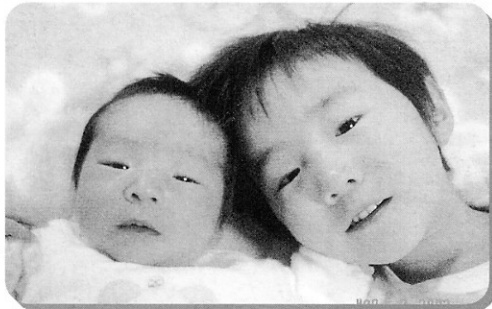
健康に育ってね (祖父 久光より)

成田 莉穂<sup>りほ</sup>ちゃん(1月29日生)



大きくなったら一緒にあそぼうね (姉 果穂より)

浅利 かなた<sup>かなた</sup>くん(2月15日生)



大きくなったら一緒にテニスでダブルス組もうね  
打倒！ウィリアムズ姉妹!? (兄 颯斗より)

# 戸籍の窓 2月 届出分

## おめでとう

秋元 佑月<sup>ゆき</sup> (孝昭) 蒔田 田  
成田 莉穂<sup>りほ</sup> (考児) 金木 倉  
泉谷 悠斗<sup>ゆうと</sup> (満) 川 倉  
鳴海 充<sup>あづま</sup> (順一) 中 柏 木  
高橋 葵<sup>あおい</sup> (和衛) 金木 倉  
浅利 かなた (勝博) 川 倉

## おしあわせに

(鎌田 祐輔 (一廣) 嘉瀬 瀬  
(石岡 綾子 (隆好) 浪岡 町  
(長尾 啓之 (鉄春) 平賀 町  
(佐野 仁美 (一) 蒔田 田

## おくやみ

山中 マサ (82才) 嘉瀬 瀬  
工藤 武司 (66才) 喜良市  
佐藤 スメ (78才) 嘉瀬 瀬  
泉谷 正雄 (62才) 金木 倉  
津島 なみ (86才) 金木 倉  
小松 才吉 (80才) 川 倉  
鳴海 爲之助 (83才) 嘉瀬 瀬  
今ハル (75才) 喜良市  
津島 明 (56才) 金木 倉  
木下 一二 (80才) 嘉瀬 瀬  
古川 幸雄 (63才) 金木 倉  
中川 キヨ (93才) 喜良市  
原田 タキ (69才) 藤 枝

この欄は金木町に住所を有している方々を掲載しています。  
掲載を希望しない方は町民課窓口へ届出の際申し出てください。

# 人口と世帯

	2月末現在	前年同月比
男	5,612人	△ 22人
女	6,227人	△ 45人
計	11,839人	△ 67人
世帯数	4,060	11

このコーナーを利用したい方は企画観光課まで

署落し物係まで

◆ 三月五日  
手さげバック  
(紺色・持ち手赤色)  
金木タウンセンター駐車場  
心当たりの方は金木警察署

◆ 三月五日  
鍵3個(キーホルダー付)  
嘉瀬旧松川商店付近路上

◆ 二月二十八日  
青森銀行駐車場

◆ 二月二十一日  
印鑑  
嘉瀬スキー場

◆ 二月十九日  
腕時計(シルバー・中国製)  
嘉瀬スキー場

◎ 届いています

# 伝言板